

# 令和2年度(第10期)事業計画書

(令和1年10月1日～令和2年9月30日)

公益財団法人松下社会科学振興財団は、平成22年9月22日に京都府より財団法人から公益財団法人への移行の認定書を受領し、今年度は第10期を迎えます。

平成6年に松下幸之助生誕100年を記念して開設された「松下資料館」の管理と運営を活動の主体と致しております。

松下資料館の来館者数は順調に増加してまいりましたが、平成31年度は約8,000名、前年比93%となる見通しです。昨年は、パナソニック創業100周年を迎えたことから、パナソニックの関係者が多数来館されましたが、今年度のパナソニック来館者は例年通りの約2,000名、前年比75%の見通しです。これに反して中国を中心とした海外からの来館者は約2,400名前年比150%と大きく増加する見通しです。

令和2年度は、一昨年来の展示室の充実化(タブレットシステム、新映像システム、新コンテンツの制作)による成果をもとに、さらなる来館者の増大を図り、松下幸之助哲学の普及に努めてまいります。又、来館者に対する講話の実施、出張講演の実施等についても積極的に取り組んでまいります。

また、昨年より実施してまいりました、外部の講師を招いた少人数制の公開講座である「松下資料館教養講座」を本年も2回実施してまいります。

従来実施してまいりました「講演会」は実施目的を「教養講座」に包含することと致します。

一方、本年度の金融情勢につきましては、米・中の国家間の摩擦、イギリスのEU離脱等、不安定な世界経済環境の中、金融不安も高まり、為替変動が大きくなることが予測されます。

当面は円高・ドル安(米ドル・豪ドル)基調が続くものと思われれます。

為替変動による仕組債権の利金収入を主たる財源としている当公益財団にとって、円高基調は大きく収入が損なわれる見通しとなります。

令和2年度は講話料収入といったその他収入の確保と効率化推進によるコスト削減にさらに注力して経営の良化に努めてまいります。

## I. 経営研究事業

### ◎「教養講座」の実施

研究事業の一環として、「豊かで幸せな社会を創る」ために知っておきたい考  
え方・知識・情報等を、外部講師を招いた公開講座として実施いたします。

※従来より実施してまいりました「定期講演会」は、今年度よりこの教養講座に組み込  
むことといたしました。

#### <教養講座の企画コンセプト>

- ・松下幸之助哲学に学ぶ
- ・京都府管轄の公益財団法人として、京都の産業・文化に学ぶ

#### ●今年度2回実施

- ① 第3回：「松下幸之助の生き方に学ぶ」 2020年2月

松下資料館 顧問 佐藤悌二郎

- ② 第4回：「京都と幕末維新」 2020年8月

霊山歴史館 副館長 木村幸比古

- ・参加料：各回 一人1000円
- ・教養講座の参加者募集に向けたeメールによる案内・申込み受付をさらに円滑に推進してまいります。

### ◎出張講演会の実施促進

講話を希望する来館者の増大に伴い、館内での講話を受講することができない  
ケースに対応して、出張講演会の提案を行なってまいります。

- ・大人数向けの講演会、遠方での講演会、イベント会場での講演会等

○ 昨年度実施回数 16回（東芝テック、日立建機、パナソニック他）

## Ⅱ. 展示事業

### ◎来館者増加に向けての促進施策

#### ① ホームページやeメールで視聴を促す情報提供

##### ●新映像コンテンツ追加の情報提供

・前年度末、映像ブースに新たな10作品の映像コンテンツを追加したことを受けて、さらに来館者増の促進。

##### ●映像コンテンツ全82タイトルおよびタブレットの松下幸之助データベースの周知徹底化

#### ② 関連先との連携強化

前年度に引き続き松下資料館と関係の深い企業・団体との連携をさらに深め、松下幸之助哲学の普及とファンづくりに努めてまいります。

##### ●パナソニックグループ、PHP研究所、松下幸之助記念志財団 等

#### 【前年度実施内容】

##### ① 松下政経塾との共同イベント 「松下政経塾説明会 IN 京都」

##### ② パナソニック・PHP研究所の取引先や関係者に対する松下幸之助哲学の普及 ・代理店、工事店、販売店、書店、著者、取引先

#### 【目的】

##### ① 社員への浸透 ②得意先との関係強化

##### ③社会貢献の一環 ④海外からの留学生との交流活動

### Ⅲ. 経営図書館事業

#### ◎経営者執筆本・会社社史の充実化

経営者執筆本・会社社史の蔵書といった全国的にも特徴のある図書館として、さらに充実化を図ってまいります。

- ・ホームページでの継続的な寄贈の呼びかけ
- ・社史編纂請負会社への寄贈依頼
- ・来館された企業幹部への声かけ

#### ◎蔵書の整理

登録された蔵書の整理・入替を継続的に実施し魅力ある図書館に致します。

令和1年7月末現在 蔵書数

全蔵書数 20,992冊

内 経営者執筆本 2,583冊

会社社史 2,206社 3,489冊